

オールマイティー・ターペン系エポキシシーラー

エポキシシーラーに弱みがなくなりました!

いままでの エポキシシーラーの弱点

2液タイプ

強いシンナー

初めて

Wマスキング技法で解決

1液タイプ

扱いやすくなりました

ターペン系

チヂミの心配不要

もちろんエポキシシーラーの浸透力・密着力は抜群のままです。

遂に究極のシーラー誕生!



オールマイティー・ターペン系エポキシシーラー

エポMシーラー



Wマスキング技法

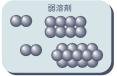
エポキシ樹脂シーラーのベースと硬化剤をそれぞれ特殊成分でマスキングしました。



従来タイプ







エポキシ樹脂は、塗料内に 含まれる溶剤の溶解力が 弱いと溶けません。

エポMシーラー



エポキシ樹脂を特殊成分でマスキング。 弱溶剤(塗料用シンナー系)でも 溶けるようになりました。



ターペン化成功

エポMシーラー

硬化剤

硬化剂

/// 湿気

硬化剤もマスキングしており、塗料の 状態では反応硬化は進まない。



塗装すると湿気によりマスキングが はずれ、反応硬化して完全な塗膜を形成。



1液化成功

■エポMシーラー 標準塗装什様

	工程		塗料名·処置	希釈率(%)	塗装回数	標準所要量 ^{注1)} (kg/m²/回)	塗装間隔(23℃)	塗装方法
1	下地調整	新設	エフロ・レイタンス・ゴミ・汚れなどは、ワイヤーブラシ・サンドペーパー・ウエスを使用して除去し、乾燥した清浄な面にしてください。(pH10以下、含水率8%以下とする。) ※コンクリートブロックやALCのような吸い込みの著しい素材の場合、フィラーなどの下地調整が必要です。					
		塗替	劣化塗膜をケレン工具(皮スキ・ケレン棒等)で完全に除去し、ホコリ・汚れ・チョーキング粉を高圧水洗で除去する。 ※旧塗膜中の活膜部はサンドペーパーで目粗ししてください。					
2	下 塗		エポMシーラー	0 (無 希 釈)	1~2 注2)	0.15	16時間以上7日以内	ハケ・ローラー
						0.18		エアレス
3	上 塗		下記の上塗り可能塗料					

注1)所要量は、被塗物の形状や、素材・塗装方法・環境などによって、増減することがあります。注2)劣化した吸い込みの著しい素材の場合、2回塗りを行ってください。注3)旧塗膜の状態が良好で、吸い込みの少ない場 合は必要以上に塗り込まないで下さい。ハジキ等の原因となります。注4)乾燥過程で水(降雨など)の影響を受けると白化することがあります。この場合は軽く表面を研磨するなどの処理をしてください。

■適用下地・旧塗膜.

用 下 地 : コンクリート、モルタル、PC板、ALC板、押し出し成形板、ケイカル板、石膏ボード、窯業系サイディングボード等

適用旧塗膜:リシン、スタッコ、吹付タイル、弾性塗材、アクリル樹脂塗料、ウレタン樹脂塗料、塩化ビニール樹脂塗料、エマルション塗料等

※ 但し、活膜(付着力が0.5N/mm²以上)であること。 ※ 各種シーリング材の上には直接塗装しないで下さい。

※ 強溶剤系の上塗塗料はチヂミが発生する恐れがあるので使用しないで下さい。

上塗り可能塗料 🗕

水 系:ビニデラックス、コスモアクリル、コスモレタン、コスモシリコンなど

弾 性 系:シリコンテックス、アレスゴムタイルニューラフ、ドリームコートなど 下地(主材)系:アレスホルダー GII:アレスタイルラフなど

弱 溶 剤 系:アレスセラマイルド(グロス)、セラMレタン、セラMシリコンⅢ中塗、カンペ1液MレタンHG、カンペ1液MシリコンHGなど

ご使用上の注意事項

- ■下記の注意事項を守って下さい。
- ■詳細な内容については安全データシート(SDS)をご参照下さい。

■予防策

- ●取り扱い作業中・乾燥中ともに換気のよい場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入し
- ないこと。必要な保護具(帽子・保護めがね・マスク・手袋等)を着用し、身体に付着しないようにすること。 ●吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。
- ・ 皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、頭巾・えり巻きタオル・長袖の作業着・前掛を着用すること。
 ●火気を避けること。静電気放電に対する予防処置を講すること。
 ●火災を発生しない工具・防爆型の電気機器・換気装置・照明機器等を使用すること。
- ●裸火又は高温の白熱体に噴霧しないこと。

- ●保火スは高温の日熱体に順義しないこと。
 ◆本来の目的以外に使用しないこと。
 ◆本来の目的以外に使用しないこと。
 ●指定材料以外のものとは混合(多液品の混合・希釈等)しないこと。
 ●缶の取っ手を持って振ったり、取っ手をローブやフックで吊り下げたりしないこと。
 ●取り扱い後は、洗顔、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。
 ●使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。
 ◆本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。

- ●日に入った場合:直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること
- ●皮膚に付着した場合:直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、医師の診察を受ける
- ●吸入した場合:空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。
- ●飲み込んだ場合: 直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。 ●漏出時や飛散した場合は、砂、布類(ウエス)等で吸い取り、拭き取ること。
- ●火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。

■保 管

- ●指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。
- ●直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること
- ●子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。

■廃 棄

●本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として 処分すること。(排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。)

●本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施主様に対して安全性に十分に注意 を払うように指導してください。例えば、不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立着板などでベンキ塗り立てである旨を表示し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにしてください。

製品名:エポMシーラー

製品コード:216-500

荷姿:16L

色:淡黄色透明

関西ペイント販売株式会社

北海道 TEL(0133)64-2424 FAX(0133)64-5757 東 北 TEL(022)287-2721 FAX(022)288-7073 北関東信越 TEL(028)637-8200 FAX(028)637-8223

関西ペイントホームページ www.kansai.co.jp TEL(03)5711-8905 FAX(03)5711-8935 中 部 TEL(052)262-0921 FAX(052)262-0981 大阪 TEL(06)6203-5701 FAX(06)6203-5603

中 国 TEL(082)262-7101 FAX(082)264-3285 四 国 TEL(0877)24-5484 FAX(0877)24-4950 TEL(092)411-9901 FAX(092)441-3339

※製品改良のため仕様は予告なしに変更することもございますのでご諒承ください。

(19年04月27刷PPO)カタログNo.540